

西が岡小学校学力向上プラン

学力向上

研究主題
「みんなが、楽しく、分かる、できる授業づくり
～インクルーシブ教育の視点を取り入れた国語科授業の展開～」

分かる授業

やる気

楽しさ

意欲

家庭学習習慣の定着

- ・学習チャレンジ週間
- ・家庭学習の手引きの作成
- ・自主学習の奨励
- ・学習内容と時間の記録
- ・教師のコメント

地域のサポート

- ・企業や行政の出前授業の活用
- ・地域の人材を生かした体験的活動
- ・長期休業中の補充指導

学級経営の充実

- ・落ち着いた生活
- ・支え合う温かい雰囲気作り
- ・積極的児童指導
- ・学習規律の設定・指導

多様な学習の場の設定

- ・少人数指導の充実
- ・個に応じた複数の学習方法
- ・教材の工夫
- ・適正就学に向けた支援
- ・かがやきルーム取り出し支援

基礎基本の定着

- ・小テスト・単元テストの実施
- ・百ます計算・音読・漢字の徹底
- ・良いノートづくりの指導
- ・適切な評価問題
- ・ミムプログラムのアセスメント

教室環境の

ユニバーサルデザイン

- ・視覚的手がかり（姿勢や発表の仕方の掲示）
- ・整頓された教室環境

算数ミニテスト



本校児童の実態

- ・本校の「学力」を単純に「全国学力・学習状況調査」と「とちぎっ子学習状況調査」で比較・検討すると、どの学年、どの教科・領域でも平均値を大きく下回っているのが現状である。その原因として考えられる要素は、①地域性 ②家庭の教育力 ③学校の教育力 にあげられると考えられる。
- ・児童は、課題に取り組む姿勢や取り組む量で、個人差が大きい。教師の指示や説明を理解できず、何をすればいいかわからなくなってしまっている児童が見られる。
- ・長文を読むこと、書くことに抵抗があり、困難を感じている児童が多い。
- ・家庭学習習慣が定着せず、家庭で自主的に学習に取り組む割合が市の平均を約10%下回っている。